

SAToyAMAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合 福井開催

SAToyAMA イニシアティブとは

人々の暮らしや生物多様性を守るためには、人間の営みにより長い年月にわたって維持されてきた里山や里海などの、いわゆる二次的自然環境を守っていくことが重要です。SAToyAMAイニシアティブは、各地域の特性や現代の社会経済に応じた形で、危機に瀕している持続可能な土地や自然資源の利用が行われる二次的自然環境を維持・再構築しようというもので、自然のプロセスに沿った社会経済活動の維持発展を通じた「自然共生社会の実現」を長期目標としています。

【行動指針】

- ① 多様な生態系のサービスと価値の確保のための知恵の結集
- ② 革新を促進するための伝統的知識と近代科学の融合
- ③ 伝統的な地域の土地所有・管理形態を尊重した上での、新たな共同管理のあり方の探求



このような自然と人の居住の接点に形成された自然環境は世界各地に見られます。

世界のSAToyAMA風景



左からベルー、カンボジア、ドイツ、フィリピンにおけるSAToyAMA風景 (IPSI事務局提供)

福井県のSAToyAMA風景



(福井県環境政策課撮影)

(美浜町提供)

(越前町提供)

(高原明美氏提供)

左から、勝山市の杉林、美浜町の水田、越前町の里、坂井市での海女漁の風景

SAToyAMAイニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI)

この取組みをさらに国際的な規模で進めていくため、「SAToyAMAイニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI)」が創設されました。

IPSIの概要 (IPSI: International Partnership for the Satoyama Initiative)

- ◆発足日：平成22年10月19日
- ◆加盟団体(平成25年6月現在)：政府機関、自治体、研究機関、企業など142団体
- ◆定例会合の開催実績
 - 第1回(平成23年 3月)：日 本・名古屋市
 - 第2回(平成24年 3月)：ケニア・ナイロビ
 - 第3回(平成24年10月)：インド・ハイデラバード



IPSI発足式典(創設メンバー)



福井開催が決定した第3回IPSI定例会合

福井でSAToyAMAイニシアティブの会合が開催されます

本年9月、IPSIの第4回定例会合 (IPSI-4) が、福井県で開催されます。

IPSI-4では、SAToyAMAの保全に取り組むIPSIメンバーが国内外から集まり、人の営みと自然とが調和し共生する社会のあり方について議論が行われます。また、生物多様性の保全と持続可能な利用が今も両立している福井の里山・里海を参加者が実際に訪れ、その経験が議論に反映されることが期待されています。

SAToyAMAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合 (IPSI-4)

開催日時：平成25年9月12日(木)から14日(土)(3日間)

場 所：福井県国際交流会館 ほか

主な内容：総会、公開フォーラム、エクスカージョン(現地視察)